

# 米子橋 6月末に完成予定



大手前通りみちだより

No39

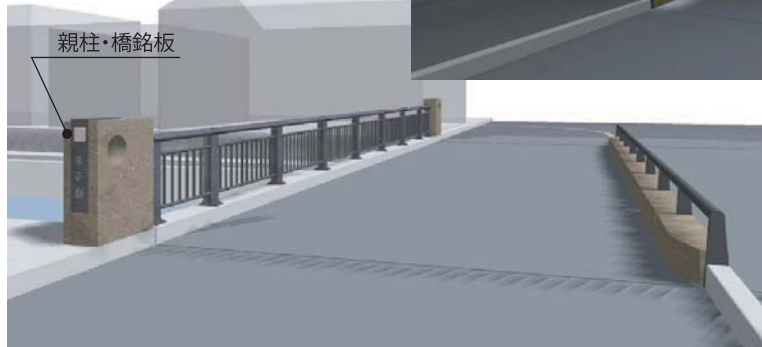
発行所

松江県土整備事務所  
tel 0852(32) 5755

松江市役所都市整備部  
都市計画課  
tel 0852(55) 5373



内蔵照明の点灯イメージ



ラパン側から見た高欄の完成イメージ

歩者道境界には来待石の縁石と照明内蔵のラインを設置して、境界の視認性と乗り上げ防止を図ります。

昨年8月に開催した「大手前通りみちづくり協議会」で提示・承認された米子橋のデザインに基づき米子橋の施工を進めています。今年6月には上部工が完成し、高欄がご覧になることとなります。

米子橋の橋長は15m程度と短いですが、大手前通りにとっては歴史的に重要な整備拠点です。デザインを検討するにあたっては、通り及び掘割の風景に融け込むさりげなさの中に、歴史の重みを感じられるデザインをめざします。

## 来待石 マメ知識



白潟公園の護岸に残っている如泥石

来待石は、凝灰質砂岩で柔らかく加工しやすいのが特徴です。江戸時代には「御止石(おんとめいし)」として、藩外に持ち出しを禁じられるほど重要視されていました。市内では宍道湖南岸を中心に護岸の浸食を防ぐ如泥石(じよでいいし)や墓石、排水溝などとして昔から使われており、市民には馴染み深い石材です。

してしています。また、敢えて歴史的モチーフを用いず、シンプルな造形性の中に確かな素材を用いて時間が経っても飽きのこない息の長いデザインを目指しています。

高欄支柱は鉄製、笠木はアルミ鋳物として確かな質感を保ちつつ、格子は川への視線を遮らない形に配慮しました。

親柱は、地元産の来待石を用い、シンプルながら照明内蔵のブロンズ橋銘板と穴をくり抜き、そこに照明を内蔵し、橋梁全体のグレイドを上げています。

全体的には和のエッセンスを大切にし、シンプルでありながら味わいのあるデザインとしています。

今後は、米子橋他、早期完成を目指して、整備を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

“大手前通りみちだより” はみちづくりに関する最新の情報をお届けします！



## 親柱の橋銘板の書体 ～母衣小学校の皆さんありがとうございました～

※橋銘板とは、橋の名前などを記した金属の板のことです



橋銘板の文字を書いてくれた母衣小学校児童の皆さん

米子橋の親柱に取付ける橋銘板の書体を母衣小学校6年生の皆さんにお願いして作成していただき、その中から4点を選定させていただきました。

今回選ばれた作品は6月末に完成予定の米子橋の橋銘板の書体原案として採用されます。

今回ご協力頂いた各学校関係者並びに児童の皆様に感謝すると共に、これにより大手前通りが地元住民の方々にとって、より一層親しみを持っていただければと思います。

## 母衣町のポケットパークが完成しました



母衣町ポケットパークは、まちかどの憩いの場、お城の見える視点場「みちの縁側」として、大手前通り周辺都市再生整備計画の一環として松江市が整備しました。

平成20年度には、市民からアイディア募集を行い、寄せられた意見をもとに大手前通りみちづくり協議会で討議。市民のアイディアを取り入れたポケットパークになりました。

公園のある場所にマークが・・・  
同じマークが松江城の石垣にもあります  
探してみてくださいね!



足元にお城のマークが・・・  
矢印の先には、松江城天守閣が見えるよ!



公園内の植栽枡やスツールは、工事の際に出土した石材を利用しています。

この石材の多くは、大海崎石といって、藩政時代から家の基礎や側溝などに使われてきた石材です。

松江地方裁判所のソテツ植栽周辺も同じように出土した石材を利用し石積が造られる予定です。

今回提示した計画案の詳細は、「大手前通り(都市計画街路 城山北公園線)」のホームページに掲載しています。

[http://www.pref.shimane.lg.jp/matsue\\_kendo/ootemae/](http://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_kendo/ootemae/)

街路の計画に関するお問い合わせ、ご意見は、松江市土整備事務所 都市整備課 (担当: 森脇・神田) まで

● 用地・補償に関するお問い合わせ  
松江市土整備事務所 用地スタッフ  
TEL 0852(32)5861

● 設計・工事に関するお問い合わせ  
松江市土整備事務所 都市整備課  
TEL 0852(32)5755

● まちづくりに関するお問い合わせ  
松江市役所 都市整備部 都市計画課  
TEL 0852(55)5373